

第1回 重点講話 2008

報告 5/19 実施

演 題

親と子どもをモンスターにしない日常的対応

参加者の*97%が満足！！

* アンケートより 52%...非常に満足 45%...満足



講師...愛知学院大学
江口昇勇 教授

「具体的でわかりやすく、大変参考になる話であった。実践の事例があることで、納得できる。」
「ユーモアを交えて、おもしろく、2時間が短く感じた。また、江口先生の話を知りたい!!」
「明日からすぐ使える内容だ。帰って同僚にぜひ伝えたい。」
講座アンケートより

私たちが設定したコンセプト「学校の今に伝えたい。」は、講師の江口先生の巧みな話術により、予想以上の成果を収めることとなりました。

今年度は、岐阜、東濃、飛騨会場に可茂地区を加え、あわせて4会場で実施したこともあり、受講者は180名を越えました。内容的に大好評だっただけに、もっと広く県内の先生方に受講していただければと感じています。

以下に講演の要旨を紹介いたします。参考にいただければ幸いです。



■ 講演要旨（受講アンケートより）

- クレームに対して、弁解しないこと。しかし、迎合もしないこと。できることとできないことをはっきり伝えることで、相手に何でもしてもらえんというファンタジーを抱かせないことが肝要だ。
- 現象の裏にある背景を読みとり、相手の心を「見立てる」こと。この見立てには、モンスターペアレントとの4パターンを活用したい。（4パターンは、当日の講師資料に説明があります。残念ながら著作権の関係からこのHPではお示しできません。この内容については、教育研修課専門研修担当まで、お尋ねください。）
- 相手を見くびらないようにしたい。とにかく聴くことだ。
- クレームには、組織で対応したい。一人で対応しない。（教師は何でもできる、できなければならないという幻想をもたないこと。一人で抱え込まないこと）



↑ 岐阜会場の様子

・4会場をネットで結んだ質疑応答は40分にもおよびました。

今後の重点講話 ご案内

第2回 12月3日（水） 13:00 受付 13:30~16:30	新管理職のための重点講話 6月19日（木） 午前の部 午後の部 10:00~11:30 13:30~16:30
教師が元気になる・やりがい・生きがいUP講座	「危機管理対応」と「リーダーシップ」の在り方
講師 原田総合教育研究所 所長 原田 隆史 氏	講師 鳴門教育大学 准教授 阪根 健二 氏 株式会社三景代表取締役 古田 興司 氏
岐阜会場 総合教育センター 新可茂会場 可茂総合庁舎 東濃会場 土岐商業高等学校 飛騨会場 飛騨高山高等学校 (岡本校舎)	岐阜会場 総合教育センター 新可茂会場 可茂総合庁舎 東濃会場 恵那総合庁舎 飛騨会場 飛騨高山高等学校 (岡本校舎)

左記講座は、現在申込み受付中です。
総合教育センターのHPから、お申込みください。定員になり次第、締め切りいたします。

* ご不明な点は下記までご連絡下さい。

教育研修課 専門研修担当
058-271-3456